

様式第4のト (第4条、第5条関係)

移動タンク貯蔵所構造設備明細書

車名及び型式		(1)								
製造事業所名		(2)								
危険物	類別	(3)	側面枳	当て板	材質記号	(9)	N/mm <sup>2</sup>			
	品名				引張り強さ					
	化学名				厚			mm		
	比重									
タンク	断面形状	(4)	防護枳	材料	材質記号	(10)	N/mm <sup>2</sup>			
	内測寸法				長さ			厚	mm	
					幅			mm		
					高さ			mm		
	最大容量				ℓ			閉鎖装置	自動閉鎖装置	有・無
	タンク室の容量				ℓ				手動閉鎖装置	有・無
諸元	材料	材質記号	吐出口の位置		左右後	(12)				
		引張り強さ	N/mm <sup>2</sup>	レバールの位置		左右後	(13)			
	板厚	胴板	mm	底弁損傷防止方法		(14)				
		鏡板	mm	接地導線		有(長さ m)・無	(15)			
		間仕切板	mm	緊締金具 (すみ金具)	有・無					
	防波板	材料	材質記号		Uボルト	材質記号	(16)			
引張り強さ			N/mm <sup>2</sup>	引張り強さ	N/mm <sup>2</sup>					
板厚		(5)	mm	箱枳	材料	材質記号	(17)			
安全装置	面積比 防波板面積 タンク断面積 ×100	(5)	%	消火器	種類	(18)	kg			
					薬剤の種類					
	タンク最大常用圧力	(6)	kPa		薬剤量	(18)	kg			
側面枳	作動圧力	(7)	kPa	個数	有・無		(19)			
					有効吹き出し面積	(7)	cm <sup>2</sup>	可燃性蒸気回収設備		有・無
	材料	材質記号	(8)	N/mm <sup>2</sup>	給油設備		有(航空機・船舶)・無	(20)		
		引張り強さ			備考	(21)				
		厚				mm				
取付角度										
接地角度										

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

【記入要領】

項目	記入要領
記入方法	各欄の該当しない部分は、「／」、「-」、「なし」等を記入し、該当する部分がないことを明確にします。
(1) 車名及び型式	車両製造メーカー名、車検証に記載されている型式を記入します。 併せて単一車、被牽引車、積載式、積載式以外のいずれかを記入します。
(2) 製造事業所	タンク等をぎ装して移動タンク貯蔵所を製造した事業所名を記入します。
(3) 危険物	貯蔵が予定されるすべての危険物の類別・品名・化学名・比重を記入します。 記入しきれない場合は、別紙に記入します。 化学名は、貯蔵する危険物の化学名を記入します。 ただし、ガソリン等の石油製品のように通常化学名が用いられない物品にあつては、通常用いられている名称を記入します。
(4) タンクの諸元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動貯蔵タンクの移動方向に直角の断面の形状は、だ円形、円形、角形、特殊形状のいずれかを記入します。</li> <li>・内側寸法について だ円形のタンクは、その長径を幅とし、短径を高さとして記入します。 円形のタンクにあつては、その直径を幅及び高さとして記入します。</li> <li>・最大容量は、タンクの内容積から空間容積を差し引いた容積を記入します。</li> <li>・タンク室の容量は、車両の移動方向の前方からタンク室に昇順に番号を付し、その容量を記入します。</li> <li>・材質記号について、タンクの材質が JIS のあるものは JIS 記号を、JIS のないものは、通常用いられている記号を記入します。 引張り強さは、当該材質の公称の値を記入します。 なお、引張り強さの強度計算を要する材料を用いる場合にあつては、当該材質の伸びの値についても記入します。</li> <li>・板厚は規格値または呼び板厚を記入します。</li> </ul>
(5) 防波板	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防波板はタンク室に設置が必要な場合、該当する箇所をすべて記入します。</li> <li>・材料、板厚はタンクの諸元に準じて記入します。</li> <li>・面積比は、車両の移動方向の前方からタンク室に昇順に番号を付して、タンク室の移動方向の最大断面積に対する防波板の面積の占める割合を記入します。 なお、面積比の数値は、小数点第 2 位を四捨五入します。</li> </ul>
(6) 最大常用圧力	20 キロパスカル以下のタンクにあつては、「20kPa 以下」と記載します。 20 キロパスカルを超えるタンクにあつては、最大常用圧力の数値を記入します。
(7) 安全装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作動圧力は、安全装置の作動圧力の範囲を「<math>\bigcirc\bigcirc &lt; P \leq \bigcirc\bigcirc</math>」と記入します。</li> <li>・有効吹き出し面積は、車両の移動方向の前方からタンク室に昇順に番号を付して各室の有効吹き出し面積を記入します。 設置されるすべての安全装置が同じ性能である場合は、まとめて記入します。</li> </ul>
(8) 側面枠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・側面枠は、それぞれ該当する箇所を記入します。</li> <li>・材料、板厚はタンクの諸元に準じて記入します。</li> <li>・取付角度は、貯蔵最大数量の危険物を貯蔵した状態における当該移動タンク貯蔵所の重心点と当該側面枠の最外側とを結ぶ直線と当該重心点から最外側線に下ろした垂線とのなす角度を記入します。</li> <li>・接地角度は、側面枠の最外側と移動タンク貯蔵所の最外側とを結ぶ直線と地盤面とのなす角度を記入します。</li> </ul>
(9) 側面枠当て板	当て板の材料、板厚はタンクの諸元に準じて記入します。

(10) 防護枠	タンクの諸元に準じて記入します。
(11) 閉鎖装置	閉鎖装置、吐出口及びレバーの位置は、該当する項目を○で囲むよう記入します。 レバーは、緊急停止レバーのことをいいます。
(12) 吐出口	
(13) レバーの位置	
(14) 底弁損傷防止	配管の屈曲、フレキシブルチューブ、可とう結合金具等貯蔵所に用いられた措置について記入します。
(15) 接地導線	有・無のいずれかを○で囲み、有の場合は、( ) 内に接地導線の長さを記入します。
(16) 緊結装置	積載式移動タンク貯蔵所の場合に該当する項目を記入します。
(17) 箱枠	タンクコンテナ等の箱枠を有するタンクの場合に該当する項目を記入します。
(18) 消火器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤の種類は、消火薬剤の種類を粉末、二酸化炭素等と記入します。</li> <li>・薬剂量は、一の消火器の消火薬剤の量を薬剤の種類ごとに記入します。この場合、同種類の薬剤で消火器の消火薬剤量が異なるときは、それぞれ別の欄にその量を記入します。</li> <li>・個数の項は、消火器の個数を薬剤の種類及び薬剂量の項の記載内容に合わせて記入します。</li> </ul>
(19) 可燃性蒸気回収設備	有・無のいずれかを○で囲むよう記入します。
(20) 給油設備	有・無のいずれかを○で囲み、有の場合は、( ) 内の該当するものに○をつけます。 なお、給油タンク車が、航空機と船舶の燃料タンクに直接給油するための給油設備を備えている場合は、航空機と船舶の両方に○をつけます。
(21) 備考	特殊な移動タンク貯蔵所である場合等に概要を記入します。 (例) 加熱設備有り、冷却装置有り